

平成11年(1999年)10月11日(月曜日)



福岡連合会で講演する大塚克己・世界平和連合会長
＝10日、福岡市内の福岡ガーデンパレスで

家庭教育から道義国家を

大塚世界平和連合会長が講演

福岡

真の世界平和と国際的道義国家・日本の理念再構築をめざす世界平和連合(大塚克己会長)の福岡県連合会は10日午後、福岡市内で「世界平和と日本の未来を拓く福岡大会」を開き、大塚会長が「世界平和と日本の使命」と題する記念講演を行った。

同大会には会員ら約六百人が参加し、九州大学名誉教授の林正徳・同連合会副議長が「国内では宗教、倫理、教育問題が山積している。青年教育が急務」とあいさつ。

登壇した大塚会長は、「道義国家日本の建設は正しい道徳を教える家庭教育から始めるべきだ」と、青少年の性的墮落に歯止めをかける純潔教育の重要性を強調。「かりに憲法改正が可能ならば正しい家庭的価値観の導入が不可欠」と語った。

また、「天皇制」容認や日米安保廃棄棚上げを打ち出した日本共産党の動向については「薄化粧の微笑戦術がよく見るとムラがあつて醜い。共産革命で大量虐殺が行われたことを忘れてはならないし、一党独裁による共産党の官僚腐敗は西側保守政党の比ではない」と警鐘を鳴らした。